

(令和5) 年度

児童館事業年間活動報告書

(錦林) 児童館

活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
(2) こま検定	12回		1	89		6	1						97	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	検定をきっかけに日々の遊びの中で発展させていき、自信をつけていく状況が見られた。
(2) けん玉検定	12回		1	79	1	1	1						83	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	技を磨き、発表につながる取り組みになっている。自由来館の参加に繋げることが課題。
(2) けん玉・こま広場	1回			15									15	4月に開催。検定とは違い、こまやけん玉に触れる機会。	検定を受けるには自信がないこまやけん玉の経験がない子が触れる機会
(2) 切り絵検定	9回		6	79	4	7							96	カッターナイフやハサミをうまく使い、じっくり取り組む機会。	大人数が過ごす場で、安全に落ち着いて取り組むために、時間と場所の工夫が必要。
(2) 手づくり教室	11回	5	32	292	41	57		5					432	毎月実施。手づくり遊びを設定。	子どもスタッフが運営に参画し、「みんなをどう楽しませるか」という視点が生まれている。
(2) 日本習字展に応募しよう	1回		14	10	10	2	1						37	学童クラブOBの保護者による書写教室。	企画して下さったスタッフは当日は参加されず職員が行った。
(2・6) ちっちゃな先生活動・乳幼児活動サポート参加	7回		5	25									30	長期休暇中も継続実施している乳幼児親子活動のサポーターとして活動する小学生の登録会と活動。	スタッフとなった子どもたちは「ちっちゃな先生」として役割意識を持ち活動を行っていた。乳幼児親子にとっても小学生が身近な成長モデルとなっていた。
(3) 避難訓練・交通安全指導	6回		2	203		55						1	261	(参加型) 避難訓練(地震時・火災時)、交通安全教室、交通安全指導	消防署と消防団の協力を得て実施する実地訓練と、警察署の協力を得て行う交通安全の指導。不審者に対するスタッフの訓練も実施した。
(3) 水鉄砲であそぼう	1回		2	11	6	3			5	4			31	水鉄砲でお互いに水をかけ合うイベント。中学生や大学生にサポートしてもらう。	子どもたちと共に行えることを考え、中学生や大学生スタッフの協力のもと、子どもたちがやりたいことに取り組むことができた。
(3) 児童館まつり・準備活動	58回	41	77	102	37	89	31	47	8	40	31		503	夏休みから子どもが企画運営するお店屋さんの準備を始める。小学校の体育館と中庭を借りて、地域団体の応援をいただいで運営する駄菓子や学童クラブ保護者会と共催で遊びのコーナー、親子でお店屋さん、6年生・中学生コーナー等おまつりを開催。感染対策の為、駄菓子の飲食はなし。	普段の活動では参加機会の少ない父親や祖父母も、子どもたちの様子を見に来場。大学生ボランティアの折紙コーナーや、将棋クラブスタッフの地域の方が将棋初心者コーナーを運営して下さるなど、地域交流の場ともなる。
(3) キックベース、ドッジ交流、練習	12回		32	154	14	58	2						260	近隣の児童館との交流のための企画を行い、練習も実施する。	キックベースの交流会は自館のみでの実施となる。ドッジボール交流会は吉田児童館と交流試合をすることができた。
(3) みんな遊び	1回		1	43		8					3		55	大学生ボランティアが遊びを企画し、希望者が参加する。	新しい遊びを提案してくれることで参加者も遊びの幅が広がり、楽しむ様子があった。大学生もみんな遊び企画を通して別のイベントのボランティア参加にも繋がっている。
(3) クリスマス会	1回	2	50	15	22	14		4	3	1			111	季節の取組として実施する。お楽しみゲームやサンタさんからのプレゼントに加え、感染症も落ち着いたことから「お楽しみおやつ」として、パフェ作りも取り入れる。	子どもたちからリクエストのあった「パフェ作り」を取り入れることができた。自分で作って食べる楽しみを味わうことができた。

子ども育成機能	基本活動	(3) おおそうじ	1回	1	56	1	20								78	年末の一日、自分たちの遊び空間を自ら管理する意識を高める。	児童館がみんなのものであることを再認識する機会となっているのではないかと思われる。	
		(3) こどもこども会・練習	1回	8	30	16	17	5	1	24					103	普段の遊びをコーナー展開する。地域の方をお招きし、子ども達と一緒に遊びに参加。ミニステージとして、うたっこ、こま、演奏披露の場を設定する。	地域の方や保護者の方が、児童館の日頃の子どもの遊びに参加してくださった。歌やこま、楽器のステージ発表を見てもらうこともできた。	
		(4) ダンスクラブ	63回		32	238	59	211	2	1	40				583	文教高校ダンス部の高校生有志の協力のもと運営。	高校生の参画を得ることで、子どもたちも刺激を得ながら活動に励んでいた。地域のお祭りへも出演し、発表の機会も得ることもできた。	
		(4) 将棋クラブ	22回		20	114	9	71	3	1				27	245	地域の将棋好きの方に来ていただき、子どもたちと一緒に対局していただいたり、子どもたち同士対局をする。	地域ボランティアの方が相手になってくださり、じっくり集中して取り組んでいる。将棋以外の遊びも取り入れてくださり楽しめるものとなった。	
		(4) うたっこクラブ	22回			291		115		2					408	仲間と一緒に歌う喜びを体験する活動。課題曲はクラブ員が選曲。	いろんなイベントで発表の機会を設定し、子どもたちの自信に繋げることができた。	
		(4) 運動クラブ	11回		15	38	11	25	4	1				4	98	高学年がスタッフとなって内容をその都度企画し進行してクラブ員が楽しめるようにしている。	日常の遊びの中でトラブルが多い児童も、クラブ活動という少人数の活動では、仲間と協力しながら活動する姿があった。	
		(4) 紙野球クラブ	19回		7	108	3	29						3	150	紙を丸めた手作りボールとプラスチックのバットで、異年齢の児童が野球に親しむ。高学年スタッフが低学年をリードする。	野球に興味があっても少年野球には入れない子ども達も身近に野球を楽しむ機会となっていた。	
		(4) サッカークラブ	23回		141	36	106	5	1					21	26	336	学童クラブ保護者のお父さんと学生スタッフによる運営。サッカーを楽しむだけでなく、思いっきり体を動かす事を楽しんでいる。	施設開放委員会に出席し、運動場の利用について調整。地域他団体との協力と共存を大切にしている。
		(4) おりがみクラブ	5回		16	8	1	2						14	41	学生ボランティアグループによる隔月1回の企画運営。登録クラブ員以外に参加希望の児童がいた場合は飛び入り参加ができる。	子ども達は毎月実施を希望している。	
		(4) 竹馬ダンスクラブ	16回		17	53	23	65							158	音楽に合わせて、子どもたち自身が創作したダンスを踊る。	子ども達が主体的に取り組む姿があった。地域のお祭りに出演し、発表の機会を得ることができた。	
		(4) 編みっこクラブ	9回		27	46									4	77	地域住民ボランティアと共に企画運営を行う。	じっくり取り組める場となり、子どもたちも主体的に行っていた。地域住民との関係づくりも進んでいる。
		(5) だがしデー	10回	74	154	170	159	90	18	67				14	746	地域の民生児童協議会の皆さんと子どもスタッフが協力しながら店員となって実施するだがし企画。	自由来館児童も児童館内での飲食を再開し、駄菓子を購入し子どもたち同士と一緒に食べる楽しさを味わうことができた。	
		(5) 音楽を楽しもう!with響Beat	1回	1	2	9		1		1				5	19	岡崎いきいき市民活動センターから依頼を受け、地域住民の活動場として提供。楽器や体を使って演奏して楽しむ。	全身を使って音楽を楽しむ姿があった。地域住民との交流にもなった。	
		(5) まち美化事務所との連携の活動	1回			11		21							32	ゴミ減量啓発ポスターの作成を行う。	ポスター作成にあたって、ゴミの分別方法などについても講話があり、学習の機会になった。	
		(6・7) 中学生と赤ちゃん交流(あそびの広場ぶらす) 振り返り	6回							5	14				19	「乳幼児親子のための秋の広場」を中学生と共に企画。	日常に利用のある中学生と相談しながら企画運営を行った。東部まち美化事務所と協働のリユース市と同時開催にすることで、多くの乳幼児親子の参加があった。	
		(6・3) 高学年イベント・打合せ	5回				35	39			6			6	86	高学年がやりたいことを考え、謎解きゲームとたこ焼き作りを企画。	小学生の希望を聞きながら、中学生、大学生ボランティアと協力しながらイベントの準備や当日の進行を行った。	

	(6・3) 6年生イベント・打合せ	9回		4	73	32	30	2						141	6年生が集まって相談し、企画、運営を行う。	低学年が楽しめる企画を考えて実施。自分たちも楽しみ、周囲も楽しい企画を作る面白さを共有した。
	(7) 文教高校ダンス部打合せ	1回						2		1				3	ダンスクラブの活動サポートにあたり、文教高校ダンス部の有志の高校生と打ち合わせを行う。	活動の目的や、児童館の想いや高校生の想いを共有する場となった。
	(7) スタディールーム	54回				12	1	240				206	3	462	中高生の居場所作りと、中学生になっても気がかりな子に対して、引き続き見守り、繋がれる機会を作る。	スタディールームがきっかけで、中高生の日常的な利用も増えてきた。またLINEを活用することで、日頃からいろいろなやり取りを行うことができています。
	合 計			131	689	2384	603	1030	314	154	79	301	111	5796		
推 進 活 動	(9) サンタプロジェクト	7回	1		29			3		11				44	普段お世話になっている地域の方にプレゼントを渡す。サンタになり、配達、得意な事を披露する。	訪問した地域住民からはとても喜ばれた。子ども達もその地域住民の姿に達成感を得ていた。
	(9) まめっこサロンリハーサル	1回			15			3						18	夏休みの企画として小学生の子どもたちと一緒に子育てサロン「まめっこ」でイベントを行う。	乳幼児親子、民生委員、小学生と繋がりのもて企画になった。
	(9) 自分たちのまちを歩いて手作りマップを作ろう	1回				1	4					1	1	7	岡崎いきいき市民活動センターの声掛けのもと、地域のマップ作りに参加。	子どもたちは地域住民と共に地域を歩いて、マップを作成した。自分たちの住んでいるまちにより関心を持つきっかけとなった。
	(9) 出張おもてなしプロジェクト	7回		6	67		21		78			1		173	異年齢異世代交流を通して、地域の子どもの育成環境をより豊かにし、障がいのあるなしに関わらず、地域に生活する人々の年齢・世代・文化の『違い』を知り、人間の中の『同じ』を見つめる。	左京南地域包括支援センターの協力を得ながら、地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。
	(9) ひまわりの絆プロジェクト	2回			89			3	2					94	黒谷交番、白河総合支援学校と連携した交通安全の取り組み。	白河総合支援学校の学生と一緒に種植えを行った。ひまわりの絆プロジェクトについて知ってもらい、交通安全の意識を持ってもらう機会となった。
	(9) OKAZAKI PARK STAGE参加・リハーサル	3回	14	28	44	27	23	2	76	5				219	岡崎いきいき市民活動センターの協力により、地域のステージに参加。	岡崎学区特有の企画に参加する。コロナ禍を経て、発表の機会が減少するなか、良い機会となった。
	(9) 岡崎わいわい文化祭参加	1回	7	20		14	1	1	34	1				78	岡崎自治連合会主催のお祭りに児童館の子ども達の遊び発表をご案内いただく。こま・けん玉・ダンスの発表をする。	日頃の遊びの成果の発表であり、子ども達の張り切る姿を地域の皆さん方に楽しんでいただいた。
	合 計		22	54	244	42	55	6	201	6	2	1	633			
子ども育成機能 合 計		153	743	2628	645	1085	320	355	85	303	112	6429				

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5) 年度

児童館事業年間活動報告書

(錦林) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数									合計	内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生				大人	
支 庭 家 動 活 本 基 子 ど も	(1) ①乳幼児クラブ															
	プレ乳幼児クラブ	5回	44						44				88	安心して参加できる入口として設定する。	見通しが持てない親子の体験入門として今後も大切にしていきたい。	
	よちよちクラブ	31回	325				15		324				664	(クラブ型) 0・1歳。月3回、手遊び・体操・季節のイベント・みんなで遊ぶ取組を行った。	母親同士の横の繋がりをつくることができました。さまざまな活動を通して参加者同士で互いの成長を見守り、喜び合う関係性が生まれた。	
	てくてく・りんりん合同クラブ	31回	207				29		194		1		431	(クラブ型) りんりん、てくてく合同での取り組み	乳幼児の利用のうち、2歳児以上よりも0歳児の利用が増えており、クラブのあり方も検討が必要になってきている。	
	(1) ②乳幼児広場															
	きんりん0歳児教室	10回	62						65				127	(講座教室型) 同年齢の子どもを持つ親子の連続講座。	離乳食講座や絵本講座など、プログラムを設定して進化した。参加者が定期的に顔を合わせることで子育ての孤立化を防ぐことにも繋がっている。	
	はなまる広場@きんりん	11回	60						58				118	子どもはぐくみ室・つどいの広場・児童館学童連盟の協力を得て、毎月1回の子育ての相談の場として開催。	子育てや発達の困りの内容によっては必要な関係機関へ繋ぎ、次の支援へ繋がるよう努めた。関係機関との連携の在り方には検討が必要。	
	ママヨガ	11回	72						74		2	15	163	(講座教室型) 子育て中の保護者がリフレッシュし、参加者同士が繋がるきっかけとなるように意識して実施。	毎回好評で、学童クラブ卒業生の保護者がボランティア講師として協力を得ている。	
	ベビーマッサージ	10回	52						61				113	(講座教室型) 毎月第2金曜日に助産師がベビーマッサージを指導。	0歳児向けの取組なので、今後も児童館の入り口として取組んでいきたい。	
	赤ちゃんサロン	13回	56						49				105	(広場型) 妊婦から1歳半の親子対象に子育ての話やふれあい遊び。	児童館の入口の取り組みとして位置付け。ゆるやかな雰囲気や大事に、新規利用者がいればスタッフが間に入るよう努めた。	
	遊びの広場	10回	78						67				145	(広場型) 月1回、簡単な工作や遊びを行う。(予約不要)	中学生企画の取組等、移動児童館として地域の公園でも実施した。	
	ぶらっとサロン	11回	49						44				93	(広場型) 自由に気軽に遊びに立ち寄り。始まり又はお昼前に、手遊び・読み聞かせの時間を短時間設定する。	子育て仲間との出会いや、短い時間のプログラムがある事を楽しみに利用を重ねる親子が増えてきた。	
	(2) 家族参加を促す															
	遊びの広場ぶらす (中学生と赤ちゃん交流)	1回	16	3					21	5			45	「乳幼児親子のための秋の広場」を中学生と共に企画	日ごろ関わりのある中学生との活動は、児童館側としても中学生とのやり取りがスムーズであった。また乳幼児親子との関係性の面でも近隣の中学生というのは地域の中のお兄さん、お姉さんという面を活かすことができた。	
	合 計		1021	3				44	1001	5	3	15	2092			

援 活 動	(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路	件数	相 談 内 容	件数	つないだ機関等	件数	
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 つどいの広場		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 育児不安 虐待		児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 主任児童委員3, つどいの広場 ファミリーサポート1		
		件数 計		—		—		—		
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容		育成・支援内容	成 果 と 課 題				
	まめっこサロン(岡崎民生協議会)		主任児童委員を中心とする岡崎地域の子育てサロン		場の提供と共にサロン運営メンバーと共に職員がサポートスタッフとして1～2名参加。	赤ちゃん家庭へのポスティングなど、地域の乳幼児家庭への直接的情報提供に児童館の情報も取り入れていただいている。				
推 進 活 動	(5) 子育てと健全育成に関する活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題			
		子育て講座【歯のお話会】	1回	子どもの歯科衛生について学びたいとの要望に応え、はぐくみ室の歯科衛生士さんの協力を得る。			保護者の関心も高く、事前アンケートに基づいた歯科衛生士からのアドバイスを受ける。			
		0歳児教室+子育て講座【絵本】	1回	地域の児童書専門店の方を講師に迎えて絵本の楽しみや子育てのヒントを学び気づく機会とする。			具体的に絵本を通して学び、保護者が子育ての悩みごとを気軽に話し合える場となった。			
		0歳児教室+子育て講座【離乳食】	2回	離乳食に対する不安や悩みを抱えておられる方が多いことから、はぐくみ室の管理栄養士さん、地域の保育園の先生を講師に迎えて離乳食相談会を実施する。			専門家の方にお話を聞けることで、参加者からもたくさんの質問が出ており、学びに繋がっていた。			
		きんりんお話し会(子育て相談会)	1回	「ちょっと気軽に相談できる場」としてお話し会の実施。事前にアンケートを実施し、質問内容を保育士さんに答えていただく。また錦林保育園についてもご紹介いただく。			育児中の方は手続きのタイミングや園での具体的な生活について、その他の方も普通の生活面での悩みや疑問など、保育園の先生とお話できたことで、一定の解決を得ることができた。			
		交通安全教室	1回	警察署員の協力により、乳幼児親子の交通安全啓発活動を行う。			身近なところに危険が潜んでいる事への気づきが生れる機会となった。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和5) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(錦 林) 児 童 館

地 域 基 本	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		将棋クラブ	22回	児童館		20	114	9	71	3	1	218	民生協議会・岡崎錦寿会・将棋愛好家有志	住民スタッフのサポート継続
		まめっこサロン	11回	岡崎民生協議会・岡崎社会福祉協議会	102		19	1	3		88	213	岡崎自治連合会・児童館	協力協働の関係の深まり
		白河総合支援学校協働活動	56回	児童館	81					132	236	449	白河総合支援学校情報印刷科・食品加工科・農園芸科	お誕生日カードのやり取りやパンの移動販売、農園での収穫体験などを通して繋がりがつくることができた。
		おもてなしプロジェクト 交流	13回	児童館		6	87		22		89	204	左京南地域包括支援センター 川東民生児童委員協議会 聖隷院民生児童委員協議会	左京南地域包括支援センターの協力を得ながら、地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。
		合 計		—	183	26	220	10	96	135	414	1084		
	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
					中学生	大学生	大 人	合 計						
			大学生・大人ボランティアガイダンス・活動ふり返り				13			13				ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。
			中学生ボランティアガイダンス・活動ふり返り		3					3				ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。
			子どもクラブ (サッカー、ダンス、将棋、おりがみ、紙野球) 活動打ち合わせと振り返り		2			2		4				活動の定着と継続。
			スタディールーム大学生スタッフ活動打ち合わせと振り返り				12			12				活動の定着と継続。
			統合育成スタッフミーティング				3			3				活動の定着と継続。主力メンバーの卒業に伴う新たなスタッフ募集の取組の必要。
		中学生・大学生企画活動打ち合わせと振り返り			8	5			13				活動の定着と継続、発展。	
		合 計			13	33	2		48					

社 促 進 機 能	活 動	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題	
		錦林小学校	利用児童（学童クラブ・自由来館）・家庭への支援に係る情報共有と相談	子ども家庭への支援に繋がる連携を児童館側から強く働きかける必要がある。	
		白河総合支援学校	協働事業振り返り	協働事業についての目的共有と意見交換の場を継続して持つことを維持。より良い活動に向けて意志共有の場となっている。	
		公立保育所地域担当・左京はぐくみ室	聖護院・岡崎地域のサロン活動支援，南部親子スマイルひろば，子育てワークショップ、はなまる広場@きんりん	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まる一方で、はぐくみ室との連携体制について再考が必要。	
		錦林ネットワーク会議（小学校・保育園・幼稚園・主任児童委員・左京はぐくみ室・市民活動センター）	構成団体同士で子ども家庭支援のための情報交換・共有を行う。個別支援に係る情報交換会も実施	多くの構成メンバーがあるため、日程調整などに加え、情報交換・共有の仕方についても再検討の必要がある。	
		岡崎自治連合会	地域の皆さんに児童館と子ども達の様子を知っていただく。	日常の遊びが子ども達の成長の力となっている姿を見ていただき、地域の方々から暖かい評価と励ましをいただく。子ども達は、普段の遊びの展開が地域の多世代に喜んでいただき評価いただく経験を通して、大きな喜びを感じている。	
		(3)地域との連携を促進する活動	岡崎民生協議会・主任児童委員・岡崎社会福祉協議会	まめっこサロン・乳幼児親子支援活動チランボスティング・将棋クラブ・サンタプロジェクト・駄菓子デー・こどもこども会・きんりん児童館まつり	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			聖護院民生協議会・主任児童委員・聖護院社会福祉協議会	乳幼児親子支援活動チランボスティング・将棋クラブ・サンタプロジェクト・駄菓子デー・こどもこども会・きんりん児童館まつり	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			川東民生協議会・主任児童委員	将棋クラブ・きんりん児童館祭り・サンタプロジェクト・子ども子ども会・駄菓子デー	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			吉田主任児童委員	乳幼児親子支援活動チランボスティング	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
	消防分団（岡崎・聖護院・川東）	きんりん児童館祭り・乳幼児親子AED体験研修	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。		
	京都市左京南地域包括支援センター	出張おもてなしプロジェクト	地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。		
	東部まち美化事務所	リユース回収・リユース市	活動を通して、「もったいない」の意識が生まれ、ゴミ減量に目を向けるきっかけにも繋がった。		
	吉田主任児童委員	乳幼児親子支援活動チランボスティング	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。		

基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		錦林児童館運営協力会議		岡崎・川東・聖護院主任児童委員, 岡崎・川東・聖護院消防分団		主任児童委員：年度初めと終わり 消防分団：8月・1月（年2回）	児童館活動への地域の意見反映	毎年、児童館の日常活動やイベント、地域団体の取組活動などを通して、協力連携の関係作りが積み重ねられている事を確認している。個別の情報交換などを密に行う。
地域福祉	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）	成果と課題	
		会場提供・備品貸出（ラミネート機械・クリスマスツリー・キーボード・楽器・CDデッキ・湯沸しポット）		まめっこ（子育てサロン）の取組		岡崎民生委員	民生委員の方たちと交流できる機会。子育て経験のある民生委員の方たちは利用される乳幼児親子に対して安心感を与える声かけをされている。参加者の以降の児童館利用につながるケース多い	
社 促 進 機 能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
		乳・幼児クラブ・プレ乳幼児クラブアンケート	利用者がクラブ活動に求めるものを知る。	乳児・幼児クラブ	児童館	アンケート用紙	参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認。白河総合支援学校との協働の取り組みでは、相互に振り返りと意見の交換ができた。	
		子育て講座アンケート	ニーズと取組の成果を知る	講座参加者	児童館	アンケート用紙	講座の前に困りごとのアンケート調査を実施することで講座内容が参加者ニーズに繋がった。	
		0歳児教室について	ニーズと取組の成果を知る	参加者	児童館	アンケート用紙	参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認。	
		学童クラブアンケート	活動の項目別について①困った点と改善点、②保護者懇談会について③あつて欲しいイベント等を知る。	学童クラブ登録家庭	児童館	アンケート用紙	感謝の気持ちを述べてくださる意見とともに、保護者懇談会の持ち方についての意見を調査した。また、親子交流活動についての希望や、学童クラブに対する意見などがわかった。	
		学童クラブ子どもアンケート	子どもの思いを探る	学童クラブ登録児童	児童館	書き込み表の掲示。口頭での伝達。	日常生活や取組み（こどもこども会演目・祭り遊びコーナー種類・高学年イベント・3年生イベント・進級お祝い会・新入生を迎える会・クリスマスプレゼント）など、子どもたちの素直な気持ちを知り、活動に反映させることが出来た。	
		ボランティア活動ふりかえり	ボランティア育成とコーディネート	日々のボランティア全員	児童館	ふりかえりシート	職員が気づかないところでの出来事や見落とししていた点に気付かされることが多く、活動の見直しにも役立っている。	
		中高生活動参加者アンケート	ニーズと取組の成果を知る	利用者	児童館	ふりかえりでの聞き取り等	活動への感想と参加したことでの楽しさと困りごとについて率直に聞き取ることが出来た。	

(令和5) 年度

児童館事業年間活動報告書

(錦林) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報	児童館だより	月1回	小学校(全校配布)、錦林ネットワーク関係団体、中学校、子どもはぐくみ室、左京・東山区各児童館、学童保育所	配布、掲示、配架	児童館での活動、行事等のお知らせ	毎月児童館のことを伝える良い手立てとなっている。見やすい紙面の充実と、出来るだけ早い発行を実現したい。
	ミニだより	月1回	保育園、幼稚園、はぐくみ室、乳幼児親子	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	乳幼児対象の取組のお知らせ	乳幼児親子向けの詳細を記載し、わかりやすい内容にする。早期に予定をたて、安定した広報を心がける。
	児童館・学童クラブパンフレット	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	事業活動紹介	業者に印刷を依頼し、パンフレットを作成。
	乳幼児親子向け活動チラシ	年3回	利用者	配布	参加希望者への案内	0歳児教室、子育て講座、各種イベントの広報を行う。
	乳幼児クラブおたより	隔月	登録制乳幼児クラブ親子	配布	登録制乳幼児クラブの予定、お知らせ	クラブ活動の内容を詳細に記載し、見通しを持って活動に参加していただけるようにする。早期に予定をたて、安定した広報を心がける。
	乳幼児クラブ案内チラシ	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	活動案内	希望者にはいつでもわかりやすくお伝えできる情報の整理。
	乳幼児クラブ募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	乳幼児クラブ要項	希望者にはいつでもわかりやすくお伝えできる情報の整理。
	児童館の取組活動案内チラシ	活動毎	利用者	配布、児童館に置いておく	参加希望者への案内	年間を通して児童館全体の各種取組活動

活 動	こどものクラブ案内チラシ、募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	ダンス、紙野球、運動、竹馬、編みっこ、うたっこ、ビーズ、将棋クラブの案内と募集の流れ	参加希望者が多くあり、クラブ運営が困難なクラブも発生する為、募集方法についての工夫が必要。
	児童館からのお知らせ	年1回	小学校（全校配布）	配布	緊急時の児童館利用について	感染症流行や自然災害時の、児童館の基本対応を自由来館保護者に確認していただくことができる。
	自由来館利用案内	年1回	学童クラブ以外の小学生	小学校内クラス配布	自由来館利用の小学生の保護者連絡等を提出していただく。	自由来館児童の安全にかかる確認をとる事ができる。
	小っちゃな先生説明書、登録カード	年1回	希望児童	説明会の際に配布	乳幼児との関わり方について。	小学生が出来る事と守って欲しい事を、わかりやすく伝える。
	ボランティア募集チラシ	年1回	大学学生課、ボランティアセンター	配布、ボランティアが知り合いに手渡す	ボランティア募集のお願い、活動案内	ボランティア希望者には配布のみでなく、口頭での説明も行った。既に活動している学生を通して広報活動を行った。
	介助ボランティア募集チラシ	年1回	近隣の大学の学生課及びボランティアセンター	配布、ボランティアが知り合いに手渡す、LINEで情報提供	ボランティア募集のお願い、活動案内	既に活動をしている学生から、大学内の情報ツールを活用して広報してもらった。大学入学者の介助者獲得にもつながった。
	ホームページ	毎月	利用者、市民	ホームページの更新	月間行事案内、おたよりの掲載	更新日に気をつけ、ページの見やすさを心掛ける。

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(錦 林) 児 童 館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	帰館時の手洗い、うがいの声かけ。昼食・おやつ前の手洗い、消毒の徹底	新年度当初は多くの児童が行っている様子が見られるが、年度の半ばになってくると声かけをしないとやらない児童が増える。繰り返し全体の場などで手洗い・うがいの仕方や必要性を児童に話していく必要がある。
		集団帰宅のグループ化	小学校が始まってからの1週間は、集団帰宅する児童に関して職員が付き添って帰っていた。職員が付き添う期間が過ぎると走って帰ったり、まとまって帰ることが難しい班もあった。注意やサポートが必要な班には職員が同行をした。
		机の片づけ方、はさみの使い方など、怪我をする恐れのあるものについて取扱いに注意する	年度の初めに物の使い方を徹底するが、しばらくすると間違った使い方をする児童が増えてきた。はさみは貸出制にし、子どもたち自身が管理を意識するように促す。
	健康の管理・情緒の安定	アレルギーのある児童についてアレルギー表をもとに代替食を提供する	児童台帳とともに提出してもらっているアレルギー表をもとに、アレルギーのある子どもは代替のものを提供した。
		流行性のある病気等が流行る時期に、病気を記録して児童館内の子どもの病気の状況を確認する	特定の時期に限らず、流行性のある病気が発症した場合は記録した。
	基本的生活習慣の確立	室内遊びの環境整備をする	別館内ではいろんな遊びが混在している状況だったので、遊びの種類によって種類ごとに空間分けを行った。環境整備をすることで、子どもたちの様子が落ち着いていた。
		子どもが安心して過ごせるような雰囲気づくりをする	職員自身が「できないこと」を強調するのではなく、「できたこと」を大事に言葉かけをし、褒めて子ども自身が認められることでの心の充実につなげていきたい。落ち着いて生活できるように部屋の中では静かに過ごすように工夫をした。
	社会生活技術の獲得	子どもへの指導など、話し合う際には子どもの意見を尊重し、互いに気持ちを言い合い話すことが出来るようにする	話し合いが必要であると判断した場合には、事務室など落ち着いた場で話をするようにした。子どもによってはトラブルの際の聞き取り方を工夫することが必要。
		班内の係活動、班ごとの当番活動	高学年の活動は、自主性を尊重し、自ら活動したことについてポイントを加算し、景品と交換できるポイント制で行った。3年生も役割を担って、帰りの会で報告していた。班活動の掃除は、掃除が終わるとグループ全員が集まって終わったことを職員に報告したり、一人一人の役割を明確にしたことでしっかりと掃除ができた。
		宿題の声かけ	宿題スペースを設けているが、宿題に関しては、自主性を尊重している。保護者から声かけの要望がある児童については、個別声をかけたり、子どもと確認をしている。
		おやつを取組方について	子ども自身が自分でおやつを食べるタイミングやおやつの種類を選べることを大切にしたい。自分で食べた後の机を拭くことで自分のことは自分でするという意識が芽生えた。
		あいさつや言葉遣いに関する指導	子どもたち同士の関わり、子どもと職員との関わりの中で出てくる言葉遣いで適切でないものがあつた場合は、その都度指導をしていった。

生活体験の拡大	誕生日会	高学年が外で出来るみんな遊びを企画し、進行する。お楽しみおやつの実施と、帰りの会で誕生日カードを渡した。
	1年生を迎える会	2～6年生が学童クラブに入る新1年生を祝う為に、役割を子ども達が受け持ち、皆で1年生を迎える。
	お弁当いらんデー	年2回、お弁当を外注してみんなで食べた。
	キックベース大会交流試合	児童館内でキックベースに参加したい子を募り、事前に練習を行い交流試合を行った。
社会性の養成	子どもグループワークのための打ち合わせ会議	日常の当番活動やお出かけ行事、イベントの実施にあたっては子ども主体の企画運営が進むよう、可能な限りの小集団での準備を心掛けた。
	3年生イベント	学童クラブの3年生が、イベント当日までに話し合い準備を進めていった。京都市動物園に行き見学を楽しみ、帰りにスーパーでおやつを買った。
自立の促進と自主性の尊重	こどもこども会	地域の方をお招きし、普段やっている遊びをコーナー展開し、地域の方や参加した保護者も一緒に楽しんでもらった。ミニステージとして、自分の好きなことや得意なことをみんなの前で発表した。みんなでそれぞれのことを認め合ういい機会となった。
	おでかけ(琵琶湖博物館)	観光バスを貸し切って、琵琶湖博物館へおでかけ。グループごとで館内の見学を行った。
	進級お祝い会	子どもの司会など子どもを中心に会を進めていき、6年生ひとり一人からみんなへメッセージの発表を行った。
	6年生イベント	6年生が低学年のためにみんな遊びを企画運営する。遊びのコーナーやヘアアレンジコーナーの運営やフルーツポンチを提供を行った。当日は、みんなが楽しめるように6年生のスタッフ同士が協力しながら進めていた。
	子ども会議	次月の目標や遊びに関するルールなど、話し合いに参加する子どもを募り話し合いをする。高学年が進行し、みんなの意見をまとめる役割を行っていた。目標設定を行うことで頑張ろうという姿勢も見えた。

子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだよりの発行	学童クラブに関する連絡事項や子どもの様子などを保護者に伝えるのに非常に有効であった。写真掲載は、学童クラブの様子を伝えるのに適当であった。子どもによる子どもニュースは保護者からも好評だった。
		写真販売	写真販売を行う。普段見ることができない学童クラブでの子どもたちの様子を保護者に知ってもらいながら、子どもの成長を共に感じられる機会となっている。
		保護者との面談(随時)	お迎え時等、保護者となるべく話す機会を多くし、子どもに関する何気ないことも共有できることは非常に有効である。子どもや家庭のことで保護者から相談がある場合は、個別対応も行っている。
		統合育成個別懇談会, 保育園幼稚園との懇談会, 小学校との懇談会	課題の見受けられる児童も含め、保護者の求めに応じて個人面談を設定。また、小学校や出身保育園との懇談会など連携を深めることができた。
	子育ての仲間づくり	親子交流会(夏のレクリエーション)	保護者企画として、金戒光明寺でのウォークラリーを行いかき氷を提供した。保護者同士で会う機会が少なく、企画を通じて保護者同士が交流ができてよかった、との声があった。
		親子交流会(秋のレクリエーション)	児童館まつりの共催で、保護者企画としてダーツを企画。企画を通じて役員同士、児童館まつりに参加する他の保護者との交流ができた、
		親子交流会(冬のレクリエーション)	雨天のため、体育館で実施。保護者も交えてドッジボール交流とビンゴ大会をした。
	子育てを支えるネットワーク形成	春の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々の子どもの姿について共有する。保護者同士のおしゃべりタイムを実施、保護者同士の交流の機会を広げる。
		秋の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々の子どもの姿について共有する。駄菓子デーで提供している駄菓子を食べながら保護者同士のおしゃべりタイムを実施、保護者同士の交流の機会を広げる。
		冬の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々の子どもの姿について共有する。駄菓子デーで提供している駄菓子を食べながら保護者同士のおしゃべりタイムを実施、保護者同士の交流の機会を広げる。参加人数が少ないことが課題。
令和6年度学童クラブ登録説明会		新規登録の方のみに向けて行った。集団下校のグループに分かれてルートを確認。近所に住む保護者同士の交流にもなった。	

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(錦 林) 児 童 館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
(1) 3年生の朝・帰りの会進行	240回			860										860	子ども達の生活グループ（班）を中心に活動。土曜日や長期休業中は朝の会を実施し、一日の見通しを持てるようにする。
(1) 長期休みの静かな遊び	99回	72	101	42	108	7	7							337	夏休みは昼食後、体を休めるため静かに過ごせる遊びを取り入れた。
(1) 長期休み掃除当番活動	25回	160	174	121	98	41	8							602	子ども達の生活グループ（班）を中心に活動。部屋の掃除を分担して実施する。
(1) 1年生館内探検	1回	44				3								47	1年生が小グループに分かれ、高学年の子どもたちが館内を案内する。
(1) 集団帰り安全指導	88回	343	249	164	139	35	13							943	集団がえり時に安全に帰れるように帰り方を職員がチェック、同行する。
(1) 3年生による運動場見回り	104回			151										151	3年生が帰りの会前に運動場の状況をチェックして帰りの会でみんなに報告する。忘れ物、一輪車竹馬の放置がないか確認する。
(1) 3年生によるおもちゃ・ビー玉チェック	94回			115										115	貸出しているビー玉がそろっているか、3年生が確認し帰りの会で報告する。
(1) 3年生による別館文具・図書整理	88回			129										129	3年生が、別館の本棚や文具棚の整理をする。
(1) 高学年の仕事	114回			138	103	3								244	高学年が図書室の本棚の整理をしたり、机を片付ける等、自ら仕事を見つける。
(2) 誕生日会（お祝いおやつ）	6回	216	199	111	118	43	16							703	誕生日会の日に特別おやつを提供する。
(2) 誕生日会（みんなあそびスタッフ活動）	6回			3	1	27								31	高学年が会議を重ね、遊びの内容を企画し、当日の運営を行う。
(2) 誕生日会（みんなあそび）	6回	104	15	22	11	2								154	低学年は自由参加。高学年が企画し、進行をする。
(2) 新入生を迎える会	1回	38	39	28	26	10	3						35	179	上級生が新一年生を迎え、みんなでお祝いする。
(2) 高学年ポイント交換	1回						1							1	高学年の役割を果たすとポイントがもらえる。ポイントが貯まれば景品と交換できる。
(2) 子ども会議	6回	32	15	11	13	4	4							79	次月の目標や遊びに関するルールなど、子どもの意見聴取をする。話し合いに参加する子どもを募り話し合いをする。高学年が進行し、みんなの意見をまとめる役割を行う。
(2) 3年生イベント話し合い	4回			95										95	3年生のお楽しみ企画を話し合う。
(2) 3年生イベント	1回			23							3			26	京都市動物園に行き見学を楽しみ、帰りにスーパーでおやつを買った。
(2) お弁当いらんデー	2回	74	61	47	36	23	5							246	お弁当を外注する。
(2) みんな遊び	3回	30	21	4				1			1			57	みんな遊びの企画、進行をしたい子どもたちが集まって実施する。

(2) だがしデー（子どもスタッフ）	9回		19	1	25	19									64	駄菓子デーの受付や店番をする。	
(2) 京都教育文化センター 劇鑑賞	1回	6	7	5	3										21	地域の施設で無料公演の企画があり、申し込んで参加した。	
(2) 夏のレクリエーション	1回	21	24	18	18	12	3							63	159	保護者会夏レク担当が企画運営。ウオークラリーとかき氷イベントを実施する。	
(2) 冬のレクリエーション	1回	19	16	15	7	6								39	102	保護者会冬レク担当が企画運営。ドッジボール、ビンゴ大会を実施する。	
(2) ギネス記録からの挑戦状	4回	15	8	2	10	2									37	参加したい子どもを募って、ギネス記録にチャレンジをする。	
(2) おでかけ（話し合い）	1回	23	20	10	3	2									58	おでかけのグループごとに、どう楽しむかコースや約束ごとについて相談する。	
(2) おでかけ	1回	22	23	17	11	6	1				3			2	85	観光バスを貸し切って、琵琶湖博物館へのお出かけする。	
(2) こどもニュース作成	10回		11	5	11	3									30	子ども達が載せたい情報やイベントの感想などを集め、作成する。	
(2) 進級お祝い会	1回	24	29	18	16	4	3								94	学童クラブメンバーそれぞれの進級を祝う。子どもを中心に会を進めていき、6年生ひとり一人からみんなへメッセージの発表をする。	
(3) 児童館祭り（親子でお店）	1回		1	1	1	1								3	7	児童館祭りで、親子出店のお店。	
(3) 秋のレクリエーション（保護者役員）	1回												13		13	児童館祭りの中で、保護者会秋レク担当が企画運営。ダーツを実施する。	
(3) 小学校PTA主催、りんちゃん祭りへの参加	1回	3	5	6	5										19	毎年、保護者が活躍されており、大勢が家族参加されている。学童出席児童への参加呼びかけをいただいている。	
(3) 保護者会会議	18回		1												97	98	年間予定立案とレク担当の調整。保護者会事務局の話し合いなど。
(3) 保護者懇談会、新規登録説明会	7回	3	1	2											74	80	新規登録児童保護者への説明会。懇談会は子どもの様子や今後のお知らせについて話し、保護者同士で話す機会を作る。
(3) 保護者、児童、学校懇談、関係機関（課題ケース）	68回										3				108	111	個別課題について解決に向けて話し合う。小学校・関係機関との連携も含めて実施する。
(3) 出身保育園との情報共有	5回														17	17	次年度学童クラブ登録の新1年生の出身保育園等担任との情報共有。
(3) 個別児童家庭からの保護者相談	11回														14	14	主として子どもの生活上の課題や友達関係についての相談。
(3) 統合育成個別面談	30回														34	34	成長発達上の課題の見受けられる児童について、希望者についての保護者との個別面談を実施する。
(3) 課題のある児童の個別振り返り	7回			7											7	7	課題が発達成長にあるのか家庭の養育機能にあるのか定めていく児童について、個別支援をする。

*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること